

教科名	理科	科目名	化学	年次	3年次	単位数	3
教科書	化学(実教出版)		副教材	ベストフィット 化学(実教出版)			

1 科目の目標

化学的な事物・現象を深く取り扱い、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する事を目指す。

2 学習について

①予習・復習の方法

予習：単元ごとの教科書の内容を読み、自分の分からない所をチェックしておく。

復習：化学の用語を覚えるだけでなく、原理・原則を理解するようにしておく。

②授業における学習方法

授業プリントを活用し、授業の内容だけでなく先生がしゃべった内容で大切なことや関連する事柄をメモしておき、自分が見直したときに分かり易いプリントを作成するように心がける。

③家庭学習のポイント

宿題は、出された当日に必ず自分の力でやる。また授業で扱ったプリントを見直すだけでなく、授業の内容に準ずる範囲の問題集を自分で解き直し、内容の理解を深める。さらに各自でスタディサブリを積極的に活用する。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	・物質の状態と平衡	・物質の状態とその変化、溶液と平衡における規則性や関係性を見出して表現する。
	中間	・物質の変化と平衡	・化学変化とエネルギー、化学反応と化学平衡における規則性や関係性を見出して表現する。
	前期 期末	・無機物質の性質	・無機物質について、観察・実験などを通して探求し、典型元素、遷移元素の性質における規則性や関係性を見出して表現する。
後期	後期 中間	・有機物質の性質	・有機化合物、高分子化合物について、観察・実験などを通して探求し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見出して表現する。
	学年 末	・化学が果たす役割	・人間生活の中の化学について、これからの社会における化学が果たす役割を科学的に考察し、表現する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質の構造や性質、反応を調べることにより物質の特徴を理解し、物質に関する規則性や関係性を見出すことができる。	学習内容で学んだ物質の性質や特徴を生かして、物質を利用したり目的にかなった物質を作り出したりすることができる。	観察、実験を行うことなどを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的に探究する力や態度を養うことができる。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%